

---

---

ピアノ演奏グレード10～6級  
**受験要項**

2025年11月改訂版

Ver.V

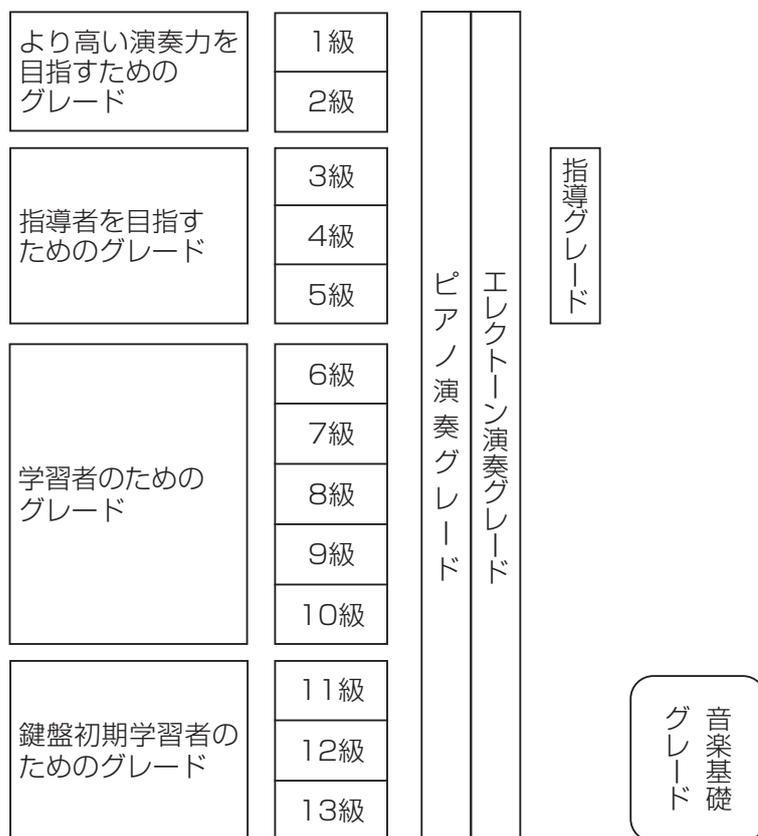
---

I	<u>ヤマハ音楽能力検定制度(ヤマハグレード)の概要</u>	2
II	<u>試験要項</u>	3
III	<u>試験の概要・試験の流れ</u>	4
	Aコース	4
	Bコース	7
IV	<u>試験内容</u>	11
	<u>自由曲・課題曲</u>	11
	1. <u>規定曲数</u> 2. <u>選曲について</u>	11
	3. <u>受験する際の留意点</u>	12
	4. <u>自由曲選曲の目安</u>	13
	5. <u>Aコース課題曲 曲集(曲目)リスト</u>	14
	<u>初見演奏(Aコース・Bコース共通)</u>	17
	<u>試験実施方法・各級における出題範囲</u>	17
	<u>(10級) 課題例</u>	17
	<u>(9級) 課題例</u>	18
	<u>(8級) 課題例</u>	19
	<u>(7級) 課題例</u>	20
	<u>(6級) 課題例</u>	21
	<u>伴奏づけ(10～8級Bコースのみ)</u>	22
	<u>各級における出題範囲</u>	22
	<u>(10級) 課題例、試験実施方法</u>	22
	<u>(9級) 課題例、試験実施方法</u>	24
	<u>(8級) 課題例、試験実施方法</u>	26
	<u>即興演奏(7・6級Bコースのみ)</u>	28
	<u>各級における出題範囲</u>	28
	<u>(7級) 課題例、試験実施方法</u>	28
	<u>(6級) 課題例、試験実施方法</u>	31
	<u>聴奏(Bコースのみ)</u>	35
	<u>各級における出題範囲(10～8級)</u>	35
	<u>(10級) 課題例、試験実施方法</u>	35
	<u>(9級) 課題例、試験実施方法</u>	37
	<u>(8級) 課題例、試験実施方法</u>	39
	<u>聴奏7・6級(Bコースのみ)</u>	42
	<u>各級における出題範囲</u>	42
	<u>(7級) 課題例、試験実施方法</u>	42
	<u>(6級) 課題例、試験実施方法</u>	45
V	<u>結果通知について</u>	48
VI	<u>合否について</u>	48
VII	<u>参考資料</u>	50
	<u>スケールとカデンツ(Bコース10級～8級の出題範囲)</u>	50

# I ヤマハ音楽能力検定制度(ヤマハグレード)の概要

1967年に制定されたヤマハ音楽能力検定(ヤマハグレード)は、現在までに30以上の国と地域で実施され、受験者は1,000万人を超えて、音楽力の社会的評価基準として信頼されています。

ヤマハグレードは受験者の音楽力や目標に合わせてグレードの種類や級に分かれており、音楽を学んでいる方が、「現在どんな力がついていて」「今後どこに力をいれるべきか」を確認しながら音楽力を身につけていくことができます。

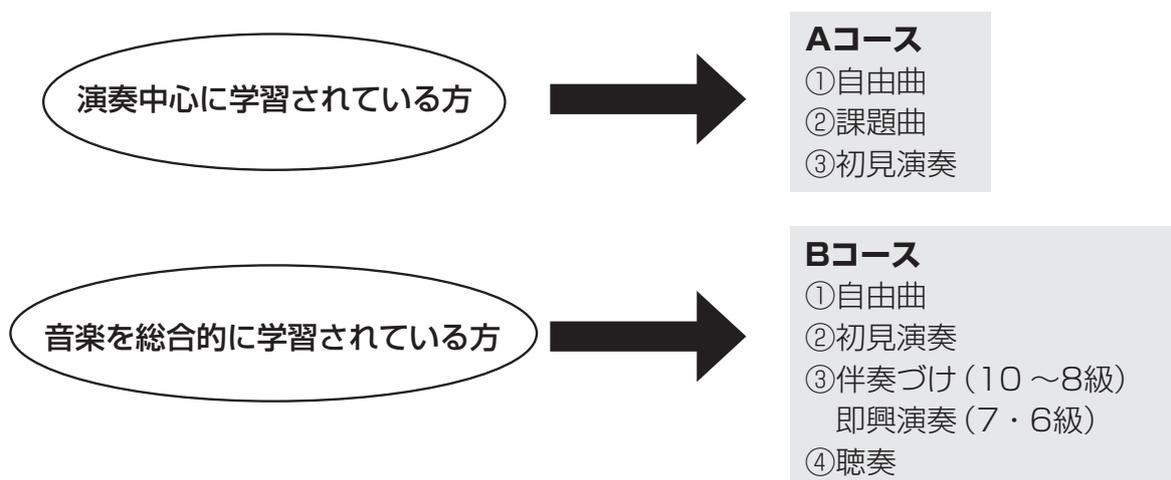


※1級は現在試験を設けておりません。

(2025年11月現在)

## ピアノ演奏グレード 10～6級

音楽を学んでいる方や趣味で楽しんでいる方が主な対象者の10～6級には2つのコースが用意されていますので、学習の目的に応じて選択して受験していただけます。



## II 試験要項

- ① 受験資格 すべての試験について、年齢、学歴、国籍等の制限はありません。但し、試験は日本語のみでの対応となります。
- ② スケジュール 10～6級の試験はヤマハ特約楽器店が主催しています。  
試験実施日につきましては、ヤマハ特約楽器店にお問い合わせください。  
〈ヤマハ音楽教室にお通いの方〉  
担当の先生もしくはお通いのレッスン会場にお問い合わせください。  
〈ヤマハ音楽教室以外のレッスンにお通いの方〉  
お近くのヤマハ特約楽器店にお問い合わせください。
- ③ 申込方法 ヤマハ音楽教室に用意している申込書に記入し、受験料を添えて、お受けになる試験会場へ直接お申し込みください。追って会場より試験当日のご案内をいたします。なお、お客さまのご都合によるお申し込み後の変更や受験料の返却は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。

④ 受験料

	10級	9・8級	7・6級
受験料	5,500円(税込)	6,600円(税込)	7,700円(税込)

⑤ 試験官

ヤマハ音楽振興会が認定した試験官2名

⑥ 結果通知

試験の結果は、実施後1ヶ月程度でヤマハ音楽振興会から、受験会場、あるいは担当の先生を通してご通知いたします。

**合格者には「合格証書」として送られます。**

\*結果通知の郵送を希望される場合は、申込時に郵送料を添えてお申し込みください。

\*結果通知は日本語のみでの対応となります。

■結果通知印字の氏名表記について、諸般の事情により2025年10月末をもって「外字」の対応を終了し類似文字に置換することといたします。2025年11月1日試験実施日以降より、申込用紙にご記入いただいた文字は、原則としてJIS第1水準、第2水準の文字を使用いたします。また同水準に含まれない文字「外字」は類似文字で置換するものとし、類似文字が見つからない場合には姓名とも全てカタカナ表記といたします。

■「合格証書」の再発行受付期間は試験日より1年以内とさせていただきます。受験会場までお申し込みください(再発行手数料:1,100円(税込))。

試験日より1年以上経過した場合は、10年以内で受験日・会場・級がおわかりになっている場合のみ「合格証明書」を発行いたします。ただし、「合格証明書」には到達度(点数)やアドバイス文章は記載されません。詳細はヤマハ音楽振興会グレードサイトにてご確認ください。(発行手数料:2,200円(税込))

※実施人数に満たない場合や天候・交通機関等の状況により、試験が延期・中止される場合があります。中止の場合の受験料は返金となります。

※試験内容を記録(録音・撮影・転記等)することを禁止いたします。

※試験室内への録音機器、ビデオ、カメラ、カメラ付携帯電話、タブレット、スマートフォン等の持ち込みを禁止いたします。

# Ⅲ 試験の概要・試験の流れ

## Aコース

### 1. 試験の概要

	①自由曲	②課題曲	③初見演奏
6級	2曲用意し、2曲演奏する	下記の曲集のいずれかより1曲を用意し演奏する。 「NewピアノスタディレパートリーコレクションズⅢ」 「NewピアノスタディレパートリーコレクションズⅢ Vol.2」	12～16小節程度のピアノ曲 調・拍子はP.5参照
7級	2曲用意し、2曲演奏する	下記の曲集のいずれかより1曲を用意し演奏する。 「NewピアノスタディレパートリーコレクションズⅡ」 「NewピアノスタディレパートリーコレクションズⅡ Vol.2」	
8級	2曲用意し、2曲演奏する	下記の曲集のいずれかより1曲を用意し演奏する。 「NewピアノスタディレパートリーコレクションズⅠ」 「NewピアノスタディレパートリーコレクションズⅠ Vol.2」	8小節程度のピアノ曲 調・拍子はP.5参照
9級	2曲用意し、2曲演奏する	下記の曲集のいずれかより1曲を用意し演奏する。 「Newピアノスタディレパートリー-6」 「Newピアノスタディレパートリー-7」	
10級	2曲用意し、2曲演奏する	下記の曲集のいずれかより1曲を用意し演奏する。 「Newピアノスタディレパートリー-4」 「Newピアノスタディレパートリー-5」	4小節程度の主としてメロディーとベースによるピアノ曲 調・拍子はP.5参照

## Aコース初見演奏：出題範囲(調と拍子)

※下記のいずれかの調が出題されます。

6級			
調	長調	#1	ト長調
		#2	ニ長調
		#3	イ長調
		#4	ホ長調
		b1	ヘ長調
		b2	変口長調
		b3	変ホ長調
		b4	変イ長調
	短調	0	イ短調
		#1	ホ短調
		#2	口短調
		b2	ト短調
		b3	ハ短調
		b4	ヘ短調
拍子	$\frac{4}{4}$ 、 $\frac{3}{4}$ 、 $\frac{2}{4}$ 、 $\frac{6}{8}$		

7級				
調	長調	#1	ト長調	
		#2	ニ長調	
		#3	イ長調	
		b1	ヘ長調	
		b2	変口長調	
		b3	変ホ長調	
		短調	0	イ短調
	#1		ホ短調	
	#2		口短調	
	b1		ニ短調	
	b2		ト短調	
	b3		ハ短調	
	拍子		$\frac{4}{4}$ 、 $\frac{3}{4}$ 、 $\frac{2}{4}$ 、 $\frac{6}{8}$	

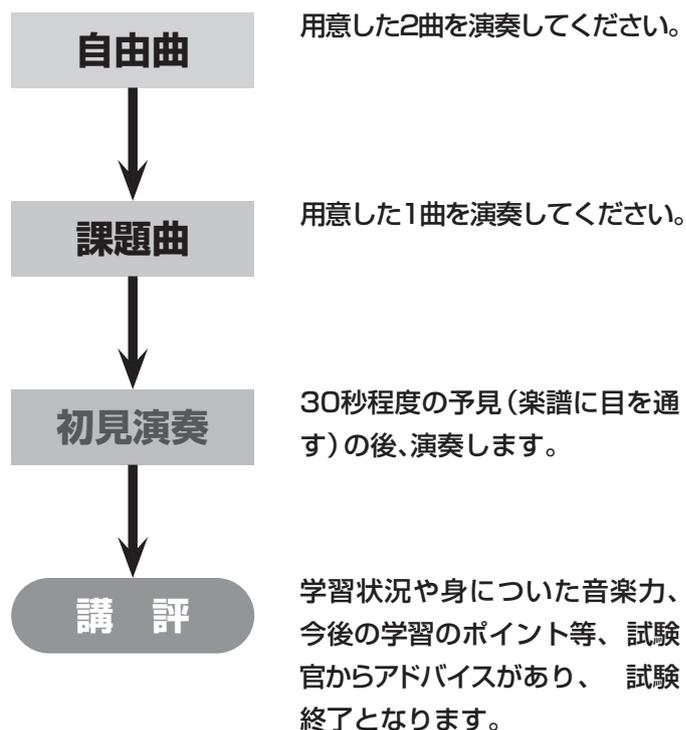
8級			
調	長調	0	ハ長調
		#1	ト長調
		b1	ヘ長調
	短調	0	イ短調
		#1	ホ短調
		b1	ニ短調
拍子	$\frac{4}{4}$ 、 $\frac{3}{4}$ 、 $\frac{2}{4}$ 、 $\frac{6}{8}$		

9級			
調	長調	0	ハ長調
		#1	ト長調
		b1	ヘ長調
	短調	0	イ短調
		b1	ニ短調
拍子	$\frac{4}{4}$ 、 $\frac{3}{4}$		

10級			
調	長調	0	ハ長調
		#1	ト長調
		b1	ヘ長調
	短調	0	イ短調
拍子	$\frac{4}{4}$ 、 $\frac{3}{4}$		

## 2. 試験の流れ

試験は次の流れで行います。試験室には受験者ご本人のみ入室いただきます。



\*それぞれの項目がスムーズに進まない場合には、試験官がフォローをしながら進めていきます。

※詳細は試験内容をご確認ください。

※ 試験内容を記録すること（録音・撮影・転記等）を禁止いたします。  
※ 試験室内への録音機器、ビデオ、カメラ、カメラ付携帯電話、タブレット、スマートフォン等の持ち込みを禁止いたします。

## Bコース

## 1. 試験の概要

	①自由曲	②初見演奏	③即興演奏	④聴 奏	②～④の範囲	
					調と和音	拍子
6級	2曲用意し、 2曲演奏する	12～16小節程度の ピアノ曲	12～16小節程度の メロディーに伴奏づけをし、 続けて曲全体を変奏する	8小節程度のピアノ曲	P.9参照	$\frac{4}{4}$ 、 $\frac{3}{4}$ 、 $\frac{2}{4}$ 、 $\frac{6}{8}$
7級	2曲用意し、 2曲演奏する	12～16小節程度の ピアノ曲	8小節程度のメロディーに 伴奏づけをし、続けて 曲全体を変奏する	8小節程度のピアノ曲	P.9参照	$\frac{4}{4}$ 、 $\frac{3}{4}$ 、 $\frac{2}{4}$ 、 $\frac{6}{8}$

	①自由曲	②初見演奏	③伴奏づけ	④聴 奏 メロディー聴奏 ハーモニー聴奏	②～④の範囲	
					調と和音	拍子
8級	2曲用意し、 2曲演奏する	8小節程度の ピアノ曲	8小節程度のメロディーに 両手で和音づけをし、 続けてそれを伴奏の形で 演奏する	・8小節程度の メロディー ・4～6小節程度の カデンツ ※II <sup>1</sup> (II <sub>6</sub> )は含まない	P.8参照	$\frac{4}{4}$ 、 $\frac{3}{4}$ 、 $\frac{2}{4}$ 、 $\frac{6}{8}$
9級	2曲用意し、 2曲演奏する	8小節程度の ピアノ曲	8小節程度のメロディーに 両手で和音づけをし、 続けてそれを伴奏の形で演 奏する	・4小節程度の メロディー ・4～6小節程度の カデンツ	P.8参照	$\frac{4}{4}$ 、 $\frac{3}{4}$
10級	2曲用意し、 2曲演奏する	4小節程度の主として メロディーとベースに よるピアノ曲	8小節程度のメロディーに 両手で和音づけをし、 続けてそれを伴奏の形で演 奏する	・4小節程度の メロディー ・4小節程度の カデンツ	P.8参照	$\frac{4}{4}$ 、 $\frac{3}{4}$

## Bコース10～8級：初見演奏・伴奏づけ・聴奏の出題範囲(調と和音)

※下記のいずれかの調が出題されます。

10級			
調	長調	0	ハ長調
		#1	ト長調
		b1	ヘ長調
	短調	0	イ短調
和音	I、V <sub>7</sub>		

9級			
調	長調	0	ハ長調
		#1	ト長調
		b1	ヘ長調
	短調	0	イ短調
		b1	ニ短調
和音	I、IV、V <sub>7</sub>		

8級			
調	長調	0	ハ長調
		#1	ト長調
		b1	ヘ長調
	短調	0	イ短調
		#1	ホ短調
		b1	ニ短調
和音	I、IV、V、V <sub>7</sub> 、II <sup>4</sup> (II <sub>6</sub> )、I <sup>2</sup> (I <sub>6</sub> )		

## Bコース7・6級：初見演奏・即興演奏・聴奏の出題範囲(調と和音)

※下記のいずれかの調が出題されます。

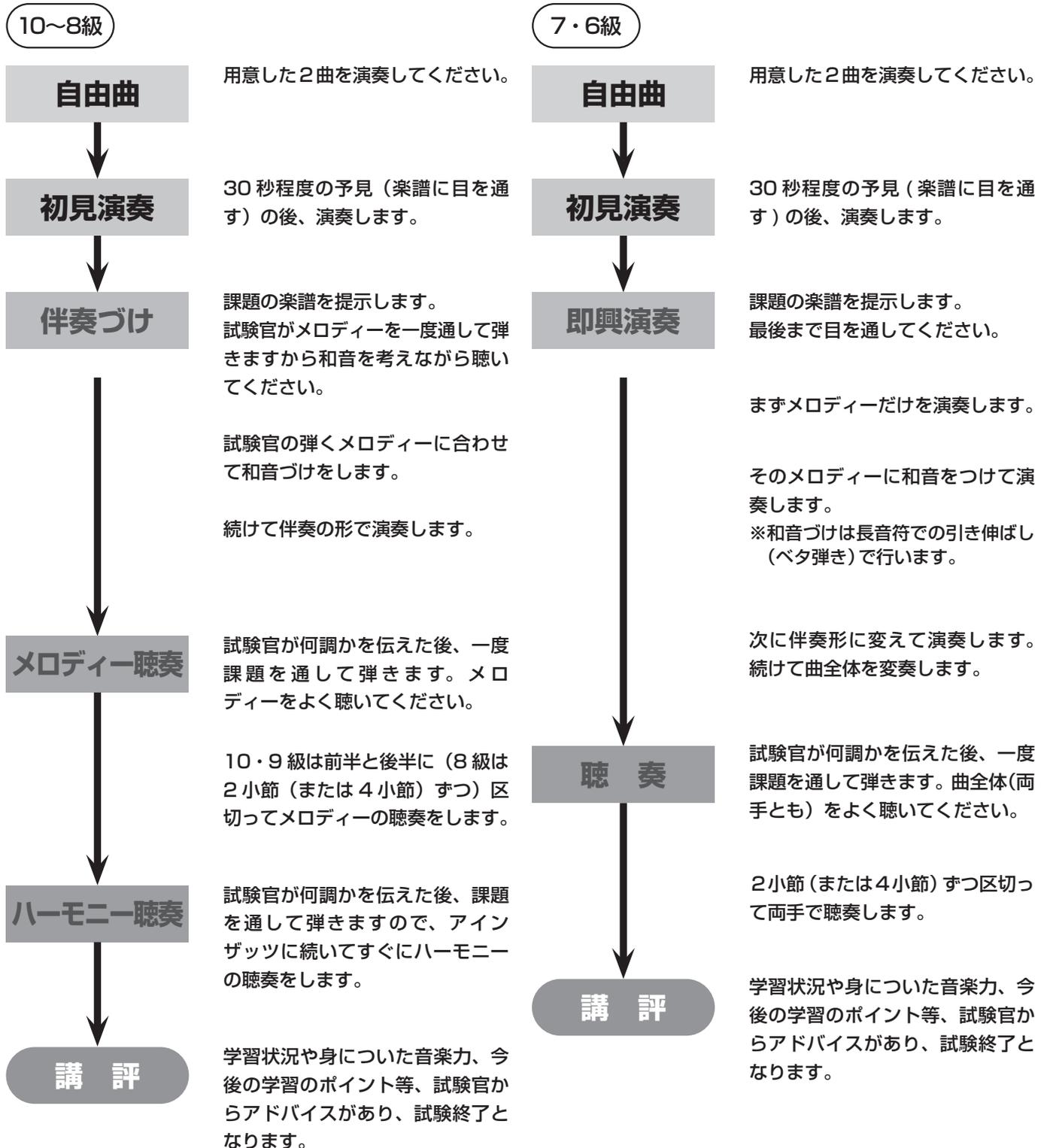
※和音は適宜転回形を用います。

7級			
調	長調	#1	ト長調
		#2	ニ長調
		b1	ヘ長調
		b2	変口長調
	短調	0	イ短調
		#1	ホ短調
		b1	ニ短調
		b2	ト短調
和音	I、IV、V、V <sub>7</sub> 、II		

6級					
調	長調	#1	ト長調		
		#2	ニ長調		
		#3	イ長調		
		b1	ヘ長調		
		b2	変口長調		
		b3	変ホ長調		
	短調	#1	ホ短調		
		#2	ロ短調		
		b2	ト短調		
		b3	ハ短調		
		和音	I、IV、V、V <sub>7</sub> 、VI、II、V̇ <sub>7</sub>		

## 2. 試験の流れ

試験は次の流れで行います。試験室には受験者ご本人のみ入室いただきます。



\*それぞれの項目がスムーズに進まない場合には、試験官がフォローをしながら進めていきます。

※詳細は試験内容をご確認ください。

※ 試験内容を記録すること（録音・撮影・転記等）を禁止いたします。  
 ※ 試験室内への録音機器、ビデオ、カメラ、カメラ付携帯電話、タブレット、スマートフォン等の持ち込みを禁止いたします。

## IV 試験内容

### 自由曲・課題曲(Aコースのみ)

人前で演奏できる曲を持っていること、また、演奏できる曲が増えていくことの喜び、それが自由曲や課題曲の持つ意味です。「こんな風に表現したい」というイメージをもって意欲的に反復練習することが何より大切です。各級にふさわしい表現力や、基礎技術が判定されます。

#### 1. 規定曲数

自由曲	10～6級	Aコース・Bコース共通	2曲用意し、2曲演奏する
課題曲	10～6級	Aコースのみ	指定された曲集(曲目)の中から1曲を用意し、演奏する

※ソナチネや組曲のように数楽章あるいは数曲から成る楽曲は、それらを個々の曲として複数の曲には数えません。1曲(1つの楽章)でも全曲でも、選曲上は1曲に数えます。

※自由曲に自作曲(自編曲)を1曲含むことが可能です。その場合は申込用紙の曲目表にその旨をお書きください。先生あるいは友人等の作曲(編曲)した楽曲も自作曲(自編曲)の扱いになります。

#### 2. 選曲について

偏りのない選曲を心がけましょう。類似した曲が重複しないよう、できるだけ広い範囲(作曲家、時代、国、スタイル、形式等)から選曲しましょう。

### 自由曲

- 1) ヤマハ音楽教育システム各コースにお通いの方はテキストから選曲することができます。担当の先生とご相談ください。
- 2) Aコース・Bコースともピアノスタディシリーズの曲を選曲することができます。但し、Aコースを受験する場合、自由曲と課題曲に同じ曲を選曲することはできません。
- 3) 選曲にあたり下記の点にご注意ください。
  - ※ツェルニーに代表される練習曲、ハノンに代表されるドリルは自由曲として選曲するのはふさわしくありません。芸術的に優れた練習曲については、自由曲として選択することが可能です。練習曲を選曲する場合は、充分にご検討ください。
  - ※ポピュラー楽曲、テレビの主題歌、こどものうたや原曲を編曲した作品等は、その音楽内容や難易度について、慎重にご検討ください。
  - ※合唱曲の伴奏、連弾曲、他楽器とのアンサンブルで一つの音楽となっている曲については、自由曲として選択することはできません。
- 4) 受験級と選曲の関係は厳密なものではありません。受験する際は曲の難易度を考慮するだけでなく、ご自身の演奏力を十分発揮できるよう準備をすることが大切です。担当の先生、保護者の方とご相談の上、受験者ご自身でお決めください。

## 課題曲

- 1) 14～16ページの「5. Aコース課題曲 曲集(曲目)リスト」の中から選曲してください。
- 2) 同一曲であれば他の出版物から選曲してもかまいません。

### 3. 受験する際の留意点

- 1) 暗譜が望ましいですが、楽譜を見てもかまいません。楽譜を見て演奏する場合は、試験室での譜めくりの依頼は受け付けていません。受験者ご自身でできるよう工夫してください。
- 2) 演奏する曲の楽譜を必ず全曲持参してください。
- 3) 楽曲の繰り返しについて
  - ・ソナタやソナチネの場合は繰り返しなしで演奏してください。
  - ・その他の曲で繰り返さなくても演奏(作品)の意図が伝わる場合は繰り返しなしで演奏してください。
  - ・繰り返しをしないとその曲が成立しない場合は繰り返して演奏してください。※判断が難しい場合は、試験当日試験官の指示に従ってください。
- 4) 演奏は時間の都合上、カットさせていただくことがあります。ご了承ください。但し、このことにより判定に影響することはありません。
- 5) タブレットやスマートフォンは録音機能があるため、試験室内に持ち込み楽譜を表示させて演奏することはできません。

# 4. 自由曲選曲の目安

	10級	9級	8級	7級	6級
バロック	ブレトリウス 舞曲 A.E. ミュラー アンダンテ	J. クリーゲル メヌエットイ短調 J.H. ファイオッコ 小品 (組曲第1番より) W.A. モーツァルト メヌエットハ長調 K.V.2 メヌエットハ長調 K.V.6 ベートーヴェン エコセーゼス長調	J.S. バッハ アンナ・マグダレーナのためのクワヴィア小曲集 J.P. ラモー メヌエットハ長調 J. クラーク ウィリアム王の行進曲 A. コレリ カボットハ長調 L. モーツァルト プールボ短調 J. ハイドン 小さなセレナード J.N. ファンメル 小さなロンド	G.P. テレマン アレグロ短調 G.F. ヘンデル サラバンド (組曲第二番より) C.P.E. バッハ マーチニ長調 J. ハイドン アレグロハ長調 ベートーヴェン ソナチネ長調 T. ハスリンガー ソナチネハ長調 A. ディアベリ ロンドハ長調	J.S. バッハ インベンション G.P. テレマン ファンタジア G.F. ヘンデル アレグロ短調 C. タカン カッコウ W.A. モーツァルト ウィーンの子ナチネ ソナタハ長調 K.545 ベートーヴェン エリーゼのために 6つのエコセーゼ変奏長調 ソナチネハ長調 ソナタ長調 op.49-2 シューベルト ワルツ短調 op.18-6
古典派	グルリット 木馬 勇敢な兵士 プレスラヴァー おてんば L. ケラー メロディー	グルリット かわいい舞曲 カボット ストリーボック ワルツ「金の星」 L. ケラー パースディ・マーチ ショスタコーヴィチ マーチ バルトーク こどものために I II バルトーク ミクロコスモス II カバレフスキー こどものための24の楽しい小品 op.39	グルリット エレジー ロマンス J.B. デュベルノア 小川のせせらぎ L. ケラー チロルの歌 カバレフスキー キャロップ ギロック 人魚の歌 V. レビコフ マーチ バルトーク こどものために III IV カバレフスキー こどものための30の小曲集 op.27 ショスタコーヴィチ こどもの音楽集 (6の小品) op.69 ギロック 叙情小曲集	シューマン ユーゲントアルバム シューマン 楽しむ舞夫 エステン お人形の夢と目覚め エルメンライヒ つむぎうた リヒナー 舞踏の時間に ストリーボック キャロップ F. スピンドラー ラッパ手のセレナード ムソルグスキー ゴバーク カバレフスキー ソナチネ ギロック 森のざわめき ハチャトゥリアン 少年時代の画像 バルトーク ミクロコスモス III	チャイコフスキー こどものためのアルバム メンデルスゾーン ベーニスの樹肉祭 嬰へ短調 こどものための小品 ショパン マズルカ変奏長調 op.7-1 ワルツ短調 op.69-2 ランゲ 花の歌 グリーク 妖精のおどり マグダウエル のばらに寄す ドビュッシー 小さな黒人 ギロック ソナチネ アルベニス タンゴ
ロマン派	グルリット 木馬 勇敢な兵士 プレスラヴァー おてんば L. ケラー メロディー	グルリット かわいい舞曲 カボット ストリーボック ワルツ「金の星」 L. ケラー パースディ・マーチ ショスタコーヴィチ マーチ バルトーク こどものために I II バルトーク ミクロコスモス II カバレフスキー こどものための24の楽しい小品 op.39	グルリット エレジー ロマンス J.B. デュベルノア 小川のせせらぎ L. ケラー チロルの歌 カバレフスキー キャロップ ギロック 人魚の歌 V. レビコフ マーチ バルトーク こどものために III IV カバレフスキー こどものための30の小曲集 op.27 ショスタコーヴィチ こどもの音楽集 (6の小品) op.69 ギロック 叙情小曲集	シューマン ユーゲントアルバム シューマン 楽しむ舞夫 エステン お人形の夢と目覚め エルメンライヒ つむぎうた リヒナー 舞踏の時間に ストリーボック キャロップ F. スピンドラー ラッパ手のセレナード ムソルグスキー ゴバーク カバレフスキー ソナチネ ギロック 森のざわめき ハチャトゥリアン 少年時代の画像 バルトーク ミクロコスモス III	チャイコフスキー こどものためのアルバム メンデルスゾーン ベーニスの樹肉祭 嬰へ短調 こどものための小品 ショパン マズルカ変奏長調 op.7-1 ワルツ短調 op.69-2 ランゲ 花の歌 グリーク 妖精のおどり マグダウエル のばらに寄す ドビュッシー 小さな黒人 ギロック ソナチネ アルベニス タンゴ
近・現代	グルリット 木馬 勇敢な兵士 プレスラヴァー おてんば L. ケラー メロディー	グルリット かわいい舞曲 カボット ストリーボック ワルツ「金の星」 L. ケラー パースディ・マーチ ショスタコーヴィチ マーチ バルトーク こどものために I II バルトーク ミクロコスモス II カバレフスキー こどものための24の楽しい小品 op.39	グルリット エレジー ロマンス J.B. デュベルノア 小川のせせらぎ L. ケラー チロルの歌 カバレフスキー キャロップ ギロック 人魚の歌 V. レビコフ マーチ バルトーク こどものために III IV カバレフスキー こどものための30の小曲集 op.27 ショスタコーヴィチ こどもの音楽集 (6の小品) op.69 ギロック 叙情小曲集	シューマン ユーゲントアルバム シューマン 楽しむ舞夫 エステン お人形の夢と目覚め エルメンライヒ つむぎうた リヒナー 舞踏の時間に ストリーボック キャロップ F. スピンドラー ラッパ手のセレナード ムソルグスキー ゴバーク カバレフスキー ソナチネ ギロック 森のざわめき ハチャトゥリアン 少年時代の画像 バルトーク ミクロコスモス III	チャイコフスキー こどものためのアルバム メンデルスゾーン ベーニスの樹肉祭 嬰へ短調 こどものための小品 ショパン マズルカ変奏長調 op.7-1 ワルツ短調 op.69-2 ランゲ 花の歌 グリーク 妖精のおどり マグダウエル のばらに寄す ドビュッシー 小さな黒人 ギロック ソナチネ アルベニス タンゴ
ヤマハ	ピアノメトード 名曲集 10級 vol.1・2 NEW ピアノスタディ 4 NEW ピアノスタディ 5 みんなのオルガン・ピアノの本③ ロマン派ピアノ小品集 1	ピアノメトード 名曲集 9級 vol.1・2・3 NEW ピアノスタディ 6 NEW ピアノスタディ 7 みんなのオルガン・ピアノの本④ ロマン派ピアノ小品集 2	ピアノメトード 名曲集 8級 vol.1・2・3 NEW ピアノスタディ レパトリーコレクションI ロマン派ピアノ小品集 3	ピアノメトード 名曲集 7級 vol.1・2・3 NEW ピアノスタディ レパトリーコレクションII ロマン派ピアノ小品集 4	ピアノメトード 名曲集 6級 vol.1・2・3 NEW ピアノスタディ レパトリーコレクションIII ロマン派ピアノ小品集 5

## 5. Aコース課題曲 曲集(曲目)リスト

10級			
TYP01089081 【NEWピアノスタディレパートリー4】		TYP01089085 【NEWピアノスタディレパートリー5】	
ふなうた*	C. M. v. ウェーバー	美しい世界	P. レーバー
いずみのほとり	T. エステン	ミュゼット(ガボット へ長調)	C. W. グルック
古きロシアの歌	L. v. ベートーヴェン	子もり歌	C. グルリット
かわいいミュゼット	外国の曲	メヌエット(二短調)	J. B. リュリ
ほら あの山に	ドイツの曲	生きるよこび	J. G. ネーグリ
こな雪のおどり	山下千尋	民謡	B. バルトーク
子どものうた	B. バルトーク	お庭で	S. マイカパル
メヌエット(ト長調)	G. Ph. テレマン	ドイツのおどり(メヌエット 二長調)	F. J. ハイドン
プレリュード	C. グルリット	スケルツォ	A. ディアベリ
ガボット(ト長調)	G. F. ヘンデル	遊び	B. バルトーク
遊んでいる子どもたち	B. バルトーク	お化けのダンス	梅谷正明
かわいいワルツ	J. N. フンメル	短い物語	H. リヒナー
朝の歌	C. グルリット	プレリュード11番	S. マイカパル
ニワトリをつかまえろ!	V. ヤーノシュ	さようなら	A. グレチャニノフ
舞踏会のあとで	A. グレチャニノフ	金の星	L. ストリーボッグ

9級			
TYP01089089 【NEWピアノスタディレパートリー6】		TYP01089093 【NEWピアノスタディレパートリー7】	
メヌエット(ト長調)	C. ベッツォルト(伝J. S. バッハ)	エコセーズ(ト長調)	L. v. ベートーヴェン
勇気のある人	C. グルリット	ゆりかご	T. デュットン
やさしい小曲	A. ディアベリ	狩りの曲	C. グルリット
花売り	L. v. ベートーヴェン	おとぎ話	S. マイカパル
ロマンス*	C. グルリット	シャコンヌ(ト長調)	H. パーセル
アレグレット	S. マイカパル	アレグレット(ハ長調)	A. ディアベリ
メヌエット(ハ長調 KV.6)	W. A. モーツァルト	メロディー	R. シューマン
後悔	B. バルトーク	ソウのダンス	A. グレチャニノフ
アレグレット(ト長調)	F. J. ハイドン	ポルカ	M. I. グリンカ
愛のよこび	J. P. マルティーニ	メヌエット(二長調 KV.7)	W. A. モーツァルト
スケルツァンド(ホ短調)	A. スカルラッチィ	プレリュード第5番	S. マイカパル
柱時計	C. ツェルニー	ダンス	B. バルトーク
アラベスク	J. F. F. フルクミュラー	フランスの古い歌	P. I. チャイコフスキー
すみれ	L. ストリーボッグ	無邪気	J. F. F. フルクミュラー
春のおとずれ	C. グルリット	舞踏の時間に	H. リヒナー

## 8級

TYP01090881 【NEW ピアノスタディレパートリーコレクションズⅠ】		TYP01093446 【NEW ピアノスタディレパートリーコレクションズⅠ Vol.2】	
メヌエット 短調 BWV. Anh.115	C. ベッツォルト (伝J. S. バッハ)	2つのメヌエット KV.1e/f	W. A. モーツァルト
マーチ 八長調	V. レビコフ	ウィリアム王の行進曲	J. クラーク
シチリアーノ 短調	A. E. ミュラー	サマータイム・ブルース	W. ギロック
アレグロ 変口長調 KV.3	W. A. モーツァルト	ぶどう酒の歌	B. バルトーク
小さなバルトーク	岩間 稔	新しいお人形	P. I. チャイコフスキー
ミュゼット 二長調 BWV. Anh.126	作者不詳 (伝J. S. バッハ)	ポロネーズ 短調 BWV. Anh.119	作者者不詳
せきれい Op.100-11	J. F. F. ブルクミュラー	フランス人形	W. ギロック
ウィンナーワルツ	W. ギロック	子どもの歌	S. マイカバル
小さな歌	A. ハチャトゥリアン	ロンディーノ	J. N. フンメル
12のやさしいソナチネより 第12番 イ長調	I. プレイエル	アレグロ 小短調 TWV. 33-21	G. P. テレマン
インパーティネンス	G. F. ヘンデル	エレジー	C. グルリット
勇ましい騎士 Op.68-8	R. シューマン	アンダンティーノ	F. J. ハイドン
波にただよ木の葉	岩間 稔	道化師 Op.39-20	D. カバレフスキー
手品師	W. ギロック	星に願いを*	L. ハーライン
バラード 二短調	B. バルトーク	ガヴォット へ長調	A. コレルリ
ソナチネ 八長調 Op.36-1 第1楽章	M. クレメンティ	孤独 Op.118-2	A. グレチャニノフ
スケルツォ	A. ハチャトゥリアン	ソナチネ 八長調 Op.55-1 第1楽章	F. クーラウ
小プレリュード 八長調 BWV.939	J. S. バッハ	バラード Op.100-15	J. F. F. ブルクミュラー

## 7級

TYP01090884 【NEW ピアノスタディレパートリーコレクションズⅡ】		TYP01093448 【NEW ピアノスタディレパートリーコレクションズⅡ Vol.2】	
楽しき農夫 Op.68-10	R. シューマン	プレリュード 長調	J. フック
サラバンド (組曲 第11番 二短調 HWV.437より)	G. F. ヘンデル	ロンドンの楽譜帳 KV. 15a	W. A. モーツァルト
ロンドンの楽譜帳 KV.15b	W. A. モーツァルト	高貴なワルツ	C. グルリット
朝の祈り Op.39-1	P. I. チャイコフスキー	マーチ 二長調 BWV. Anh.122	C. P. E. バッハ
メヌエット (フランス組曲 第2番 八短調 BWV.813より)	J. S. バッハ	トッカティーナ Op. 27-12	D. カバレフスキー
ソナチネ イ短調 Op.27-18	D. カバレフスキー	タランテラ Op.100-20	J. F. F. ブルクミュラー
12のやさしいソナチネより 第8番 小長調	I. プレイエル	変奏曲 BB.105-87	B. バルトーク
バラード 二長調 Op.99-3	A. グレチャニノフ	ブギ・プレリュード	W. ギロック
夏のあらし	W. ギロック	グラスハーモニカのためのアダージョ 八長調 KV.617a	W. A. モーツァルト
ソナチネ 長調 Anh.5	L. v. ベートーヴェン	紡ぎ歌	A. エルメンライヒ
初めての悲しみ Op.68-16	R. シューマン	2つのレントラー D.681-5,7	F. シューベルト
プレリュード 小短調	D. ツィポーリ	ぜんまいじかけのお人形 Op.69-6	D. ショスタコーヴィチ
散歩 Op.99-5	A. グレチャニノフ	中国人の行列	W. ギロック
ソナチネ 長調 Op.151-1 第1楽章	A. ディアベリ	私のお気に入り*	R. ロジャース
夢 Op.88-1	D. カバレフスキー	ポロネーズ (フランス組曲 第6番 小長調 BWV.817より)	J. S. バッハ
森のざわめき	W. ギロック	小さなこもりうた Op.124-6	R. シューマン
ガヴォット (フランス組曲 第5番 長調 BWV.816より)	J. S. バッハ	ワルツ	P. I. チャイコフスキー
プレリュード 小短調 Op.28-4	F. ショパン	ソナチネ 長調 Op.36-2 第1楽章	M. クレメンティ

6級			
TYP01090887 【NEW ピアノスタディレパートリーコレクションズⅢ】		TYP01094806 【NEW ピアノスタディレパートリーコレクションズⅢ Vol.2】	
ワルツ イ短調 (遺作)	F. ショパン	見知らぬ国々と人々 Op.15-1 (子どもの情景より)	R. シューマン
クーラント ホ短調	J. B. リュリ	妖精の踊り Op.12-4 (叙情小曲集より)	E. グリーグ
ウィーンのソナチネ 第2番 イ長調 KV.439b 第1楽章	W. A. モーツァルト	アレグレット ト長調 Hob.Ⅲ:41Ⅳ	F. J. ハイドン
ウクライナ民謡による7つの陽気な 変奏曲 Op.51-4	D. カバレフスキー	小さな羊飼ひ(子どもの領分より)	C. ドビュッシー
ベニスの舟歌 嬰へ短調 Op.30-6	F. メンデルスゾーン	プレリュード ニ短調 BWV.935	J. S. バッハ
叙情的ワルツ (7つの人形の踊り Op.91cより)	D. ショスタコーヴィチ	ソナチネ Sz.55 第1楽章 「バグパイプ吹き」	B. バルトーク
棒踊り (ルーマニア民俗舞曲 BB68より)	B. バルトーク	ソナチネ へ長調 Anh.5	L. v. ベートーヴェン
プレリュード (平均律 第1巻 第1番 八長調 BWV.846より)	J. S. バッハ	アメージング・グレース *	イギリス民謡
魔女(ババガ) Op.39-20	P. I. チャイコフスキー	かっこう	L. C. ダカン
プレリュード Op.27-2	A. スクリャービン	ス・ワンダフル *	G. ガーシュウィン
紡ぎ歌 Op.67-4	F. メンデルスゾーン	「ドン・ジョヴァンニ」による ロンド Op.31-1	F. クーラウ
エリーゼのために WoO 59	L. v. ベートーヴェン	ノクターン 嬰八短調 遺作 WN.37	F. ショパン

※同一曲であれば他の出版物から選曲してもかまいませんが、8級「星に願いを」、7級「私のお気に入り」、6級「アメージング・グレース」は、必ず上記曲集の楽譜を使用してください。

※6級「ス・ワンダフル」は、G. ガーシュウィン自身の編曲の楽譜に限ります。上記曲集に収載の「ス・ワンダフル」は、G. ガーシュウィン自身の編曲の楽譜です。

※楽章付きで楽章指定のない曲は任意の楽章または全楽章を演奏してください(いずれも一曲とみなします)。

※10級「ふなうた」(NEWピアノスタディレパートリー4)と「人魚のうた」(みんなのオルガン・ピアノの本3に収載)は同じ曲です。

※9級「ロマンス」(NEWピアノスタディレパートリー6)と「小さなロマンス」(Op.210-15)は同じ曲です。

※課題曲について等グレードの最新情報は、[ヤマハ音楽振興会グレードサイト](http://www.yamaha-mf.or.jp/grade/)でお知らせいたします。  
<http://www.yamaha-mf.or.jp/grade/>

## 初見演奏(Aコース・Bコース共通)

「調・拍子・音・リズム」の4つの要素を捉えて演奏できるかどうかを判定します。この4つの要素を意識しながら「楽譜を読んですぐに弾く」という練習を行きましょう。

### 【試験実施方法】

- 1) 30秒程度問題を見ます。(予見)
- 2) 試験官の合図があったら、楽譜を見ながら通して演奏します。  
(例「では、始めてください。」「はい、どうぞ」)  
※調や拍子を必ず確認してから演奏しましょう。

### 【各級における出題範囲】

Aコースは P. 5、Bコースの10～8級は P. 8、7・6級は P. 9 をご確認ください。

## 10級

### 【課題例】

The musical score is for a piano piece in common time (C). It consists of two staves: a treble staff and a bass staff. The treble staff begins with a quarter rest, followed by quarter notes G4, A4, B4, and C5, and ends with a dotted half note G4. The bass staff begins with a quarter rest, followed by a dotted half note G3. A first ending bracket is indicated by a '1' above the treble staff and below the bass staff, spanning the first four measures of the piece.

9級

【課題例】

The musical score is written for piano in common time (C). It consists of two systems of four measures each. The right hand (RH) plays a melodic line with a slur over all notes. The first measure of the first system has a fingering '1' above the first note. The left hand (LH) has rests in the first two measures of the first system, followed by a half note in the third measure and a whole note in the fourth measure. In the second system, the LH plays a bass line with half notes in the first three measures and a whole note in the fourth measure. The piece concludes with a double bar line.

8級

【課題例】

7級

【課題例】

Moderato

*mf*

*f*

6級

【課題例】

Moderato

*mf*

*f*

## 伴奏づけ(10~8級Bコースのみ)

「メロディーに対し適切な調・和音がわかる力」と「メロディーに合う伴奏を、流れの中で演奏できる力」を判定します。簡単なメロディーに和音をつけ、伴奏形にして演奏する練習を反復して行いましょう。出題範囲の調・和音も確認しておきましょう。

### 【各級における出題範囲】

P. 8をご確認ください。

### 10級

#### 【課題例】

*Allegretto*

The image shows a musical score for a piano accompaniment exercise. It is divided into two systems. The first system features a treble clef staff with a melody in G minor (one flat) and a bass clef staff with a simple accompaniment pattern. The second system continues the melody and accompaniment. The tempo is marked 'Allegretto'.

10級の〔伴奏づけ〕の課題には、ベース音が提示されています。

## 【試験実施方法】

- 1) 試験官がメロディーを一度通して弾きますので、楽譜を見ながらよく聴いてください。
- 2) 次に、試験官の弾くメロディーに合わせて、提示されたベース音に基いて適切な和音をつけ両手で演奏します。

「1、2、3 (ハイ)」

**Allegretto**

試験官

受験者

「ハイ、伴奏を変えて...」

- 3) 続けて、それを伴奏の形で演奏します。

試験官

受験者

提示した伴奏形は一例です。

曲の雰囲気、テンポ等それぞれの曲に合う伴奏形で演奏できるよう練習しておくといでしょう。

9級

【課題例】

Andantino

The first system of the musical score shows a treble clef staff with a melodic line in 3/4 time, marked 'Andantino'. The melody consists of quarter notes: G4, A4, B4, C5, D5, E5, F5, G5. A slur covers the first four measures. The grand staff below shows a bass line with quarter notes: G3, F3, E3, D3.

The second system of the musical score continues the melody from the first system. The treble staff melody continues with quarter notes: A5, B5, C6, B5, A5, G5, F5, E5. A slur covers the first four measures. The grand staff bass line continues with quarter notes: C3, B2, A2, G2.

9級の〔伴奏づけ〕の課題には、ベース音が提示されています。

## 【試験実施方法】

- 1) 試験官がメロディーを一度通して弾きますので、楽譜を見ながらよく聴いてください。
- 2) 次に、試験官の弾くメロディーに合わせて、提示されたベース音に基いて適切な和音をつけ両手で演奏します。

「1、2、3 (ハイ)」

試験官

受験者

「ハイ、伴奏を変えて...」

- 3) 続けて、それを伴奏の形で演奏します。

試験官

受験者

提示した伴奏形は一例です。

曲の雰囲気、テンポ等それぞれの曲に合う伴奏形で演奏できるよう練習しておくといでしょう。

## 8級

## 【課題例】

Moderato

The musical score is presented in two systems. Each system consists of a treble clef staff and a grand staff (treble and bass clefs). The tempo is marked 'Moderato'. The first system shows a melody in the treble clef and a bass clef with a whole note chord. The second system shows a more complex melody in the treble clef and a bass clef with a whole note chord.

9級までとは違い、8級の課題ではベース音は提示されませんが、開始和音が音符で記されます。メロディーと和音の関係をベース音も含め理解し、和音の配置にも気をつけながら演奏してください。

## 【試験実施方法】

- 1) 試験官がメロディーを一度通して弾きますので、開始和音に気をつけて楽譜を見ながらよく聴いてください。
- 2) 次に、試験官の弾くメロディーに合わせて、開始和音に続いて適切な和音をつけ両手で演奏します。

「1、2、3 (ハイ)」  
Moderato

試験官

受験者

「ハイ、伴奏を変えて...」

- 3) 続けて、それを伴奏の形で演奏します。

Moderato

試験官

受験者

提示した伴奏形は一例です。

曲の雰囲気、テンポ等それぞれの曲に合う伴奏形で演奏できるよう練習しておくといでしょう。

## 即興演奏(7・6級 Bコースのみ)

「メロディーに合う伴奏を演奏できる力」と「曲全体を変奏できる力」を判定します。簡単なメロディーを自分なりにアレンジすることを多く経験してみましょう。

出題範囲の調・和音も確認しておきましょう。

### 【各級における出題範囲】

P.9をご確認ください。

#### 7級

#### 【課題例】



5) 続けて曲全体を変奏します。

受験者

The musical score consists of two systems of piano accompaniment. Each system has four measures. The key signature is one flat (B-flat major), and the time signature is common time (4/4). The right hand (treble clef) plays a melody with eighth and quarter notes, often using slurs and accents. The left hand (bass clef) provides a harmonic accompaniment with chords and single notes, including some rests.

提示した伴奏形は一例です。

曲の雰囲気、テンポ等それぞれの曲に合う伴奏形で演奏でき、変奏できるよう練習しておくといでしょう。伴奏形を変えた時と曲全体を変奏した時に伴奏形が同じであっても構いませんが、曲全体を変奏する際に伴奏形も更に変えることができた場合は評価の対象(加点要素)となります。



## 【試験実施方法】

- 1) 与えられた課題のメロディーに目を通します。
- 2) 課題のメロディーだけを弾きメロディーを把握します。試験官が状況に応じフォローを行います。

**フォロー例** 「試験官と一緒にメロディーを読む」、「試験官がメロディーを歌う」  
 「試験官がメロディーを区切って弾く (受験者はそのとおりにまねをする)」

※メロディーの演奏は、評価の対象とはなりません。

- 3) そのメロディーに和音をつけて演奏します。

※和音づけは長音符での引き伸ばし(ベタ弾き)で行います。

※和音づけが上手くいかない場合は、試験官が状況に応じフォローを行います。

※和音づけ以降は、評価の対象となります。

4) 次に伴奏形に変えて、通して演奏します。

First system of musical notation. The right hand (treble clef) plays a melodic line with a slur over four measures. The left hand (bass clef) plays a rhythmic accompaniment of eighth notes in pairs.

Second system of musical notation. The right hand continues the melodic line with a slur. The left hand accompaniment changes to chords.

Third system of musical notation. The right hand continues the melodic line with a slur. The left hand accompaniment changes to eighth notes with a slur.

Fourth system of musical notation. The right hand continues the melodic line with a slur. The left hand accompaniment changes to chords. The system ends with a double bar line.

5) 続けて曲全体を変奏します。

提示した伴奏形は一例です。

曲の雰囲気、テンポ等それぞれの曲に合う伴奏形で演奏でき、変奏できるよう練習しておくとい良いでしょう。伴奏形に変えた時と曲全体を変奏した時に伴奏形が同じであっても構いませんが、曲全体を変奏する際に伴奏形を更に変えることができた場合は評価の対象(加点要素)となります。

## 聴奏(Bコースのみ)

聴奏とは、聴いた音楽を演奏(再現)することです。この項目では聴いたメロディー・ハーモニーを再現できる力について判定します。10～8級ではメロディー聴奏とハーモニー聴奏が別の項目になっていますが、7・6級ではメロディーとハーモニーが含まれた曲を聴奏します。聴奏の練習を行うことも大切ですが、楽曲を演奏する際などにメロディーやハーモニーをよく聴くことも重要です。出題範囲の調・和音も確認しておきましょう。

### 【各級における出題範囲】

10～8級はP. 8をご確認ください。

## 10級

### メロディー聴奏

#### 【課題例】

Moderato

#### 【試験実施方法】

1) 試験官が何調の問題かを伝えた後、一度通して伴奏つきで弾きます。

Moderato

2) 次に試験官が伴奏つきで前半を弾きます。アインザッツ※に続いて前半のメロディーを聴奏してください。  
 (その際、試験官は伴奏のみ弾きます。) ※「ハイ」等の演奏のきっかけの合図

**Moderato**

3) 続いて試験官が後半を弾きますので、同様に聴奏してください。

## ハーモニー聴奏

### 【課題例】

### 【試験実施方法】

※右手は、開始和音が第5音高位の配置  
 ※1小節につき1種類の和音

- 1) 試験官が何調の問題かを伝えた後、通して弾きます。
- 2) アインザッツに続いてそれを聴奏してください。

※状況に応じ区切って提示されます。

## 9級

## メロディー聴奏

## 【課題例】

Moderato

## 【試験実施方法】

1) 試験官が何調の問題かを伝えた後、一度通して伴奏つきで弾きます。

Moderato

試験官

2) 次に試験官が伴奏つきで前半を弾きます。アインザッツ※に続いて前半のメロディーを聴奏してください。

(その際、試験官は伴奏のみ弾きます。) ※「ハイ」等の演奏のきっかけの合図

Moderato

受験者

試験官

ハイ

3) 続いて試験官が後半を弾きますので、同様に聴奏してください。

受験者

試験官

## 8級

## メロディー聴奏

## 【課題例】

Moderato

## 【試験実施方法】

- 1) 試験官が何調の問題かを伝えた後、一度通して伴奏つきで弾きます。

Moderato

試験官

2) 次に試験官が伴奏つきで2小節または4小節程度に区切って弾きます。アインザッツ※に続いてメロディーを聴奏してください。(その際、試験官は伴奏のみ弾きます。) ※「ハイ」等の演奏のきっかけの合図

Moderato

受験者

試験官

## ハーモニー聴奏

### 【課題例】

### 【試験実施方法】

- 1) 試験官が何調の問題かを伝えた後、通して弾きます。
- 2) アインザッツに続いてそれを聴奏してください。

※状況に応じ区切って提示されます。

**聴奏 7・6級(Bコースのみ)****【各級における出題範囲】**

P. 9をご確認ください。

**7級****【課題例】**

Moderato

The musical score is for a piano exercise in G major (one sharp) and 2/4 time. It is marked 'Moderato'. The score consists of two systems, each with two staves (treble and bass clef). The first system contains four measures. The right hand plays a melody of eighth notes and quarter notes, while the left hand plays a simple accompaniment of chords and single notes. The second system also contains four measures, continuing the melody and accompaniment. The piece ends with a double bar line.

## 【試験実施方法】

1) 試験官が何調の問題かを伝えた後、一度通して弾きます。

Moderato

試験官

2) 次に試験官が伴奏つきで2小節または4小節程度に区切って弾きます。アインザッツ※に続いて両手で聴奏してください。※「ハイ」等の演奏のきっかけの合図

Moderato

受験者

試験官

System 1 of the musical score. It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The key signature has two sharps (F# and C#). The treble staff has a whole rest in the first two measures, followed by a melodic line in the third and fourth measures. The bass staff has whole rests in the first two measures and whole notes in the third and fourth measures. A slur covers the melodic line in the treble staff across measures 3 and 4. The Japanese text "ハイ" is written above the treble staff in measure 4.

System 2 of the musical score. It consists of two staves: a treble clef staff and a bass clef staff. The key signature has two sharps (F# and C#). The treble staff has a whole rest in the first two measures, followed by a melodic line in the third and fourth measures. The bass staff has whole rests in the first two measures and a bass line in the third and fourth measures. A slur covers the melodic line in the treble staff across measures 3 and 4. The Japanese text "ハイ" is written above the treble staff in measure 4.

6級

【課題例】

Moderato

## 【試験実施方法】

1) 試験官が何調の問題かを伝えた後、一度通して弾きます。

Moderato

試験官

2) 次に試験官が伴奏つきで2小節または4小節程度に区切って弾きます。アインザッツ※に続いて両手で聴奏してください。※「ハイ」等の演奏のきっかけの合図

Moderato

受験者

試験官

First system of musical notation, measures 1-4. The key signature is two flats (B-flat and E-flat). The melody in the right hand starts in measure 3 with a quarter note G4 (sharped), followed by quarter notes A4, B-flat4, and C5. The bass line has whole rests in measures 1 and 2, and a half note G3 in measure 3.

Second system of musical notation, measures 1-4. The melody in the right hand continues from measure 3 of the first system. A slur covers the notes G4, A4, B-flat4, and C5. The word "ハイ" (Hai) is written above the slur. The bass line has whole rests in measures 1 and 2, and a half note G3 in measure 3.

Third system of musical notation, measures 1-4. The melody in the right hand continues from measure 3 of the first system. A slur covers the notes G4, A4, B-flat4, and C5. The bass line has whole rests in measures 1 and 2, and a half note G3 in measure 3.

Fourth system of musical notation, measures 1-4. The melody in the right hand continues from measure 3 of the first system. A slur covers the notes G4, A4, B-flat4, and C5. The word "ハイ" (Hai) is written above the slur. The bass line has whole rests in measures 1 and 2, and a half note G3 in measure 3.

## V 結果通知について

ヤマハ音楽振興会認定の試験官2名が審査を行い、受験者ご自身の学習範囲に対する到達度(音楽力)について以下の内容をお知らせします。

### ①各項目の到達度

試験の各項目における、学習範囲に対する到達度(身についた音楽力)について点数(10点満点)で表記されます。※5点が合格ライン、7点は「標準」、10点は「学習範囲の力がとてもよく身についている」という意味合いとなります。

### ②総合的な到達度

各項目の到達度(①)の合計点により、受験級が求める学習範囲に対する総合的な到達度(音楽力)が決定されます。

S～Eの6段階で表記されます。

合格	S	合計点が 49～50 点	受験級の学習範囲を大幅に上回る力がついています。
	A	合計点が 41～48 点	受験級の学習範囲の力は十分ついています。
	B	合計点が 33～40 点	受験級の学習範囲の力はついています。さらに確実な力をつけましょう。
	C	合計点が 25～32 点	受験級の学習範囲の力はほぼついています。バランスよく力をつけましょう。
不合格	D	合計点が 17～24 点	受験級の学習範囲まであと一息です。しっかり力をつけましょう。
	E	合計点が 16 点以下	受験級の学習範囲に達していません。もう一度学習しなおしましょう。

### ③今後の学習へのアドバイス

「日々のレッスンで学び、身につけている音楽力」と「音楽学習を続ける上で、より音楽力を高めるためのアドバイス」の両方が記載されます。

## VI 合否について

- ・総合的な到達度S～C(合計点が25点以上)を得た場合が、合格となります。
- ・合計点が25点以上であっても、各項目において2点もしくは1点が一つでもついていた場合は不合格となります。

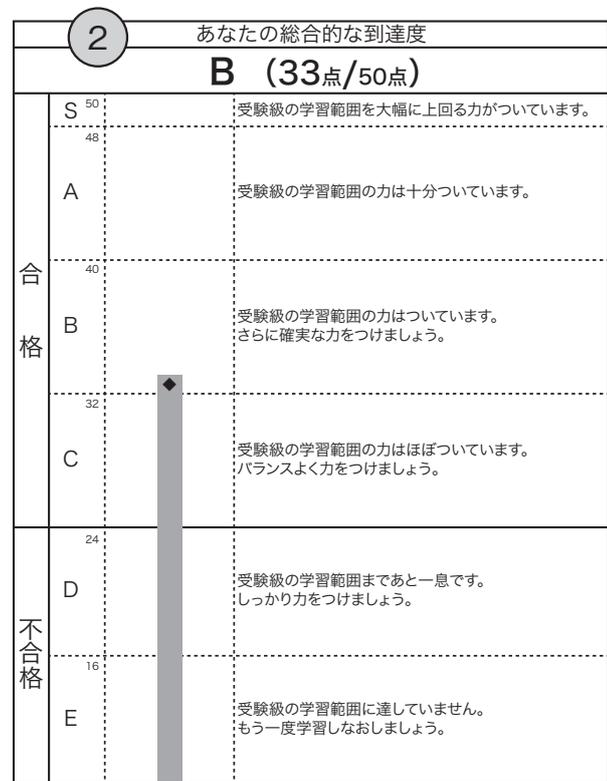
# <結果通知のイメージ>

～ ピアノ演奏グレード9級 B コース ～

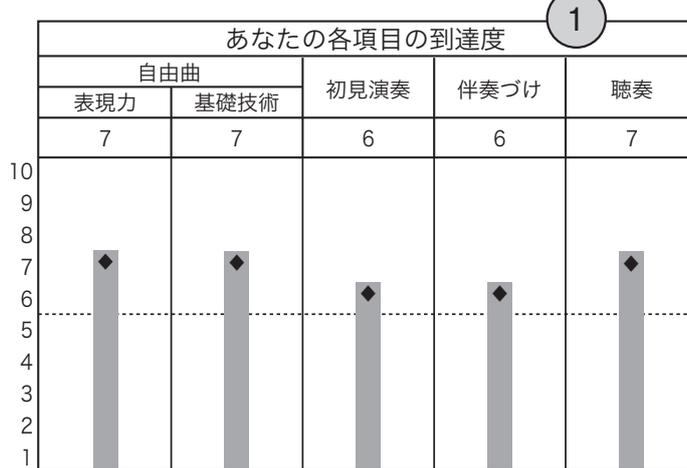
2025年11月1日

山葉 花子様

アドバイスをよく読み、これからも次の目標に向けがんばりましょう！



※合計点が25点以上でも「1～2点」が1項目以上ついた場合は不合格となります。



3 ☆☆今後の学習へのアドバイス☆☆

自由曲は、曲想を感じ、表現しようとしています。  
聴奏は、左手（ベース）の高さに注意して再現できています。  
初見演奏は、一つひとつの音を読むのではなく、流れで読む練習を積み重ねましょう。  
伴奏づけは、色々な伴奏形を覚え、余裕をもって演奏できるよう練習しましょう。  
すべての項目で安定した力がつけられるようがんばりましょう。

※結果通知は試験実施後1ヶ月程度でヤマハ音楽振興会から、受験された会場あるいは担当の先生を通してお届けします。

## 参考資料 スケールとカデンツ (Bコース10級～8級の出題範囲)

ピアノ・エレクトーンBコース10級～8級の出題範囲である調の主なスケールとカデンツです。初見演奏・伴奏づけ・聴奏を勉強する際に、参考にしてください。

※ 尚、掲載されているスケールのオクターブ数やカデンツの和音の形については、ヤマハ音楽教室で使用している教材「ジュニア」の内容に準拠しています。

### Bコース 10級

#### <八長調>

1 2 3 1 2 3 4 5 4 3 2 1 3 2 1

5 4 3 2 1 3 2 1 2 3 1 2 3 4 5

(両手伴奏)

5 3 1

5 (1)

(ベースと左手)

5 3 1

5 (1)

<ト長調>

<ヘ長調>

<イ短調>

【和声的短音階】

【旋律的短音階】

# Bコース 9級

## <八長調>

1 2 3 1 2 3 4 1 3 1 5 1 3 1 4 1 3 1

5 4 3 2 1 3 2 1 4 3 1 3 1 4 1 3 1 5

5 1 1

5 (1) ( ) ( )

( ) ( ) ( ) ( )

5 1 1

5 (1) ( ) ( )

( ) ( ) ( ) ( )

5 1 1

5 (1) ( ) ( )

( ) ( ) ( ) ( )

<ト長調>

The first system of the score is written in G major, C major, and G major. The right hand (treble clef) plays a sequence of eighth notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4. The left hand (bass clef) plays a sequence of eighth notes: G3, F3, E3, D3, C3, B2, A2. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes. A repeat sign is present at the end of the system.

The first system of the accompaniment is written in G major, C major, and G major. The right hand (treble clef) plays a sequence of eighth notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4. The left hand (bass clef) plays a sequence of eighth notes: G3, F3, E3, D3, C3, B2, A2. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes.

The first system of the accompaniment is written in G major, C major, and G major. The right hand (treble clef) plays a sequence of eighth notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4. The left hand (bass clef) plays a sequence of eighth notes: G3, F3, E3, D3, C3, B2, A2. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes.

The second system of the accompaniment is written in G major, C major, and G major. The right hand (treble clef) plays a sequence of eighth notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4. The left hand (bass clef) plays a sequence of eighth notes: G3, F3, E3, D3, C3, B2, A2. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes.

The second system of the accompaniment is written in G major, C major, and G major. The right hand (treble clef) plays a sequence of eighth notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4. The left hand (bass clef) plays a sequence of eighth notes: G3, F3, E3, D3, C3, B2, A2. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes.

The third system of the accompaniment is written in G major, C major, and G major. The right hand (treble clef) plays a sequence of eighth notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4. The left hand (bass clef) plays a sequence of eighth notes: G3, F3, E3, D3, C3, B2, A2. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes.

The third system of the accompaniment is written in G major, C major, and G major. The right hand (treble clef) plays a sequence of eighth notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4. The left hand (bass clef) plays a sequence of eighth notes: G3, F3, E3, D3, C3, B2, A2. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes.

< 長調 >

1 2 3 4 1 2 3 1 4 3 4 1 4 1 4 1 3 1 4 1 3 1 4 1

5(1) (Φ)

5(1) (Φ) (Φ) 5(1)

5(1) (Φ) (Φ) 5(1)

# <イ短調>

## 【和声的短音階】

## 【旋律的短音階】

<二短調>

【和声的短音階】

【旋律的短音階】

# Bコース 8級

## <八長調>

※ 8級で出題される両手伴奏のポジションは、右手の開始和音が第5音高位または根音高位の2種類です。

(第5音高位)

(根音高位)





< 長調 >

Musical score for the first system, featuring a treble and bass clef. The treble clef part includes fingerings: 1 2 3 4 1 2 3, 1 3 4 1, 4, 1 4, 1 3 1 4, and 1. The bass clef part includes fingerings: 5 4 3 2 1 3 2, 1 4, 1 3, 1, 3 1, 1 3 1, and 5. The piece concludes with a repeat sign and a fermata over the final chord.

Musical score for the second system, showing a bass clef with a complex rhythmic pattern consisting of eighth and sixteenth notes.

Musical score for the second system, showing a treble and bass clef with a complex rhythmic pattern. The treble clef part includes a fingering of 1. The piece concludes with a fermata over the final chord.

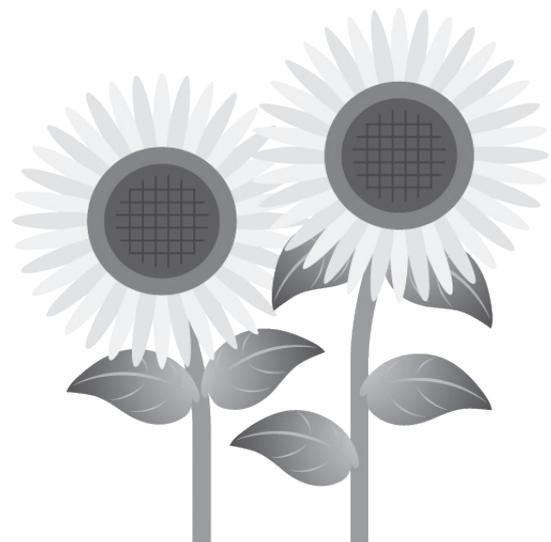
Musical score for the third system, showing a treble and bass clef with a complex rhythmic pattern. The treble clef part includes a fingering of 1. The piece concludes with a fermata over the final chord.

Musical score for the third system, showing a treble and bass clef with a complex rhythmic pattern. The treble clef part includes a fingering of 1. The piece concludes with a fermata over the final chord.

<イ短調>

【和声的短音階】

【旋律的短音階】



<二短調>

【和声的短音階】

Musical score for harmonic short scale in B-flat minor. The score is written for piano in C major mode (B-flat minor key signature). It consists of two systems of staves (treble and bass clef). The first system shows the ascending and descending scales with fingering numbers (1-5) above the notes. The second system shows the same scales with a repeat sign and a final whole note chord. The bass clef part includes a sub-octave starting with a 5 in the first measure.

【旋律的短音階】

Musical score for melodic short scale in B-flat minor. The score is written for piano in C major mode (B-flat minor key signature). It consists of two systems of staves (treble and bass clef). The first system shows the ascending and descending scales with fingering numbers (1-5) above the notes. The second system shows the same scales with a repeat sign and a final whole note chord. The bass clef part includes a sub-octave starting with a 5 in the first measure.

Musical score for harmonic accompaniment in B-flat minor. The score is written for piano in C major mode (B-flat minor key signature). It consists of two systems of staves (treble and bass clef). The first system shows the ascending and descending scales with fingering numbers (1-5) above the notes. The second system shows the same scales with a repeat sign and a final whole note chord. The bass clef part includes a sub-octave starting with a 5 in the first measure.

Musical score for melodic accompaniment in B-flat minor. The score is written for piano in C major mode (B-flat minor key signature). It consists of two systems of staves (treble and bass clef). The first system shows the ascending and descending scales with fingering numbers (1-5) above the notes. The second system shows the same scales with a repeat sign and a final whole note chord. The bass clef part includes a sub-octave starting with a 5 in the first measure.



ヤマハ音楽振興会 〒153-8666 東京都目黒区下目黒3-24-22  
グレード事務局

■お問い合わせ先

こちらのお問い合わせフォームをご利用ください。  
[https://inquiry.yamaha.com/contact/?act=508&lcl=ja\\_JP](https://inquiry.yamaha.com/contact/?act=508&lcl=ja_JP)



本要項の全部または一部を権利者に無断で複製（コピー）することは、著作権の侵害にあたり、著作権法により罰せられます。  
個人的な範囲を超える使用目的での複製はなさないようお願いいたします。

©2025 by Yamaha Music Foundation  
2025年8月作成